マックスバリュ北海道株式会社

2018年2月期 第2四半期 決算説明会

〈期間：2017年3月1日～2017年8月31日〉

2017年10月5日

1, 会社概要

2, 決算概要

3, 2017年度上期の取り組み

4, 2017年度下期の取り組み

5, 2017年度の見通し

■ 会社概要

商号	マックスバリュ北海道株式会社
本社	札幌市中央区北8条西21丁目1番10号
代表者	代表取締役社長 出戸 信成
設立	1961年3月
資本金	11億76百万円
営業収益	1,232億4百万円 (2017年2月末)
従業員数	社員1,155名 パート従業員3,748名 (パート従業員8時間換算)(2017年8月末)
株主数	3,432名 (2017年8月末)
上場市場	(株)東京証券取引所 JASDAQ市場

■ 会社概要 店舗展開エリア

札幌市内に10月下旬
開店予定 (SM)

札幌市を含む道央圏を中心に**89店舗**展開

※2017年10月1日現在

旭川市内に年内開店予定 (DS)

マックスバリュ	53店舗
マックスバリュEX	3店舗
フードセンター	5店舗
JOY	3店舗
プライスマート	1店舗
いちまる	7店舗
計	72店舗

ザ・ビッグ	12店舗
ザ・ビッグEX	5店舗
計	17店舗

■ 決算概要【四半期損益計算書】

単位：百万円

	2016年度 上期実績	2017年度 上期公表数値	2017年度 上期実績	前年同期 増減率	公表値 増減率
営業収益	61,570	63,000	62,342	1.3%	▲1.0%
営業利益	231	200	141	▲39.1%	▲29.3%
経常利益	235	210	152	▲35.2%	▲27.3%
四半期純利益	▲ 224	▲ 270	▲ 224	-	-

7 期連続で営業収益増収も公表値未達。利益確保に影響

■ 決算概要【売上、客数、客単価の昨年比較】

売上高堅調 客数減も客単価でカバー
客単価増 = 一点単価維持、買上点数増

■ 決算概要【グループ別売上高推移】

※同規模昨比

生鮮グループでは畜産G、サービスデリG好調
 デイリーG、グロサリーGは冷凍食品、チョコレート、
 特定保健用食品など、健康志向や
 作らない化の高まりにより売上増

既存店売上高昨比
100%超

83ヶ月達成!!!

期間：2010年9月度から2017年8月度

※2014年3月度に翌月4月から導入された消費増税に伴う駆け込み需要があったため、翌年2015年3月度の売上昨比は未達成となりました。

■ 決算概要【販売費、一般管理費の状況】

※単位：百万円

	2016年度上期		2017年度上期		増減
	金額	売比	金額	売比	
人件費	6,797	11.2%	7,051	11.5%	254
販促費	1,510	2.5%	1,566	2.5%	55
設備費	4,205	6.9%	4,360	7.1%	154
一般費	864	1.4%	898	1.5%	33
合計	13,379	22.0%	13,876	22.6%	497

販管費率は前年同期と比較し、0.6%上昇

人件費、設備費の上昇が要因

人件費：将来を見越した新入社員の採用増や
人時単価の上昇

設備費：新規出店、改装の設備投資費用の増加

■ 決算概要【営業利益の構成】

※単位:百万円

新規出店を除いた営業利益は約32百万円の改善
 新規出店で122百万円の影響

2017年度上期の取り組み

■ 2017年度上期の取り組み

新規出店【マックスバリュ北40条店】

【コンセプト】

- ・美味しさが伝わる売場づくり
- ・簡便商品の豊富な品揃え
- ・イートインコーナーの充実

開店日：2017.07.28

所在地：札幌市東区

札幌市内では2013年以来
4年振りの新店

■ 2017年度上期の取り組み

大型改装【8店舗】

品揃えの見直し

設備の一新

地場商品の品揃え

デリカ強化

売場ケース入れ替え

冷凍食品充実

二一ズ拡大商品品揃え

新たな什器導入

品揃えの見直しや大型修繕 上期8店舗実施
改装効果は、改装店舗売上高昨比 **+7.9%**

※改装後翌月～8月末の昨比
13

■ 2017年度上期の取り組み

節約志向への対応 ①安い値!

購買頻度の高い商品を中心に価格訴求する販促企画。
野菜の対象品目数を増やして対応。「安い値!」売上
構成比4.1%⇒4.9%

※安い値!はSMの取り組み

■ 2017年度上期の取り組み

節約志向への対応 ②今週のおすすめ品

週替わりで商品を選定し、価格訴求。季節や社会行事などを踏まえて商品設定

今週のおすすめ品同規模昨比+3.4%

■ 2017年度上期の取り組み

販売促進の取り組み

毎月20日・30日 **お客さま感謝デー**

各種イオンマークのついたイオンカードとWAON POINTカードのご利用・ご提示(お預かり)、または電子マネーWAONのお支払いで **5% OFF** カードでおトク!

毎月 **第2日曜** **ザ・ビッグデー**

お買得価格からさらにレジにて **5% OFF** お買上げすべてのお客さま

イチオシ商品企画

イチオシ食材

今回ご紹介したイチオシ食材の「北海道産 生さんま」は、お近くのマックスバリュ/フードセンター/ジョイ/いちまるでどうぞ!
(一部取扱いのない店舗がございます)

材料 (2人分) 調理時間10分

生さんま	👉 イチオシ食材!	2尾
なす		2本
生姜(千切り)		適量
大葉(千切り)		3枚

【お客さま感謝デー】 + **9.3%**
【ザ・ビッグデー】 + **18.5%**
ザ・ビッグデーはTVCM効果大

旬の食材を毎月選定し、
「簡単・時短」メニュー提案
TV、HP、売場連動

※ザ・ビッグデーはDSの取り組み
数字は同規模昨比伸長率 16

商品力の強化

今朝採れ野菜を最大26店舗で品揃え
(レタス、とうもろこし)
今後ブロッコリーの配送を進める

労働力の確保と人材育成

本年度新入社員 115名入社
2年連続 100名越の採用

各職位に合わせたセミナーを
実施。社外講師も招聘

全国でも人口減が進む北海道では労働力の確保が喫緊の課題。新規労働力の確保と既存従業員の能力向上の取り組み

■ 2017年度上期の取り組み

環境社会貢献活動

ご当地WAON【地域への寄付】

店舗所在市町村との防災協定締結

植樹活動

食育活動

2017年度下期の取り組み

改装店舗、新店の成功

※オープン1週間後から
9月末までの数値

【新店】マックスバリュ新発寒店
10月下旬オープン予定。複合商業
施設への出店

【新店】ザ・ビッグ緑が丘店【仮】
年内オープン予定。DS業態
4年振りの新店

【改装】マックスバリュ春駒通店
9/15（金）オープン。改装後昨比
160%超で好調な滑り出し

下期は1店舗の改装、2店舗の新規出店予定
人口増または人口が多い地区に出店（札幌市、旭川市）
改装は2015年度承継した「いちまる」の店舗

■ 2017年度下期の取り組み

節約志向の対応継続

依然節約志向は根強い。火曜日、水・木曜日などの恒例催事や節約志向の高まりに比例して支持が高まるDS業態を強化していく

買上点数改善に向けた取り組み

適正在庫管理

過剰在庫は鮮度劣化による商品価値を損なうだけにとどまらず、値引きや廃棄など、ムダな作業を発生する。適正在庫管理をすることで利益の改善を図ることにもつながる

利益率改善に向けた取り組み

【人件費】 人時の偏りの解消
時間外労働の管理
(作業の見直し、削減)

【設備費】 修繕計画の見直し
(修繕方法、代替案)

上期に課題であった経費管理を見直し。ムリ・ムラ・ムダを抽出し管理。教育や不可欠な修繕など必要な投資は継続

■ 2018年2月期 業績見通し

単位：百万円	2017年 2月期実績	2018年 2月期予想	対前期増減率 (%)
営業収益	123,204	128,000	+3.9
営業利益	1,287	1,300	+1.0
経常利益	1,309	1,320	+0.8
当期純利益	403	450	+11.5
1株当たり 当期純利益（円）	58.48	65.18

参考資料

参考資料 業績の推移【上期実績】

営業収益

単位：百万円

営業利益

単位：百万円

経常利益

単位：百万円

四半期純利益

単位：百万円

■ 参考資料 貸借対照表

単位：百万円	2017年2月末		2017年8月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	9,696	29.9%	9,796	28.2%	100
固定資産	22,755	70.1%	24,923	71.8%	2,168
資産合計	32,452	100.0%	34,720	100.0%	2,268
流動負債	17,025	52.5%	20,316	58.5%	3,290
固定負債	6,764	20.8%	6,099	17.6%	▲665
負債合計	23,789	73.3%	26,415	76.1%	2,625
純資産合計	8,662	26.7%	8,304	23.9%	▲357
負債・純資産合計	32,452	100.0%	34,720	100.0%	2,268

■ 参考資料 キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	2015年度上期	2016年度上期	2017年度上期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	▲592	1,856	1,192	▲664
投資活動による キャッシュ・フロー	▲424	▲824	▲1,587	▲762
財務活動による キャッシュ・フロー	▲620	▲844	229	1,074
現金及び現金 同等物期末残高	371	643	530	▲113

■ 参考資料 主要財務指標

	2015年度上期	2016年度上期	2017年度上期
総資産経常利益率	1.7%	0.7%	0.5%
総資産当期純利益率	▲0.3%	▲0.7%	▲0.7%
自己資本経常利益率	6.1%	3.0%	1.9%
自己資本当期純利益率	▲1.2%	▲2.8%	▲2.7%
総資本回転率	1.9	1.9	1.8
売上高売上総利益率	21.1%	21.0%	21.4%
売上高営業利益率	0.8%	0.4%	0.2%
売上高経常利益率	0.9%	0.4%	0.2%
自己資本比率	27.3%	24.7%	23.7%

【 I Rに関するお問い合わせ先 】

経営企画部

TEL : 0 1 1 - 6 3 1 - 5 1 9 2

<http://www.mv-hokkaido.co.jp>

この資料は情報提供を目的としたものであり、投資判断、あるいは投資の勧誘等を目的としたものではありません。
この資料の作成に当っては、現在において可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現在における仮定を前提としております。